休校期間中の学習ワークシート　第６学年　国語⑮「夏のさかり」

名前		取り組んだ日	月　　日（　　）
動画	なし	教科書	国語六　Ｐ．七十六・七十七

一．日本では、こよみうえで季節を二十四に区切っていました（二十四節気）。夏の二十四節気と意味を二回以上読みます。（読み方は、教科書に載っています。）薄い字はなぞります。

二十四節気の言葉	時期	意味
立夏	五月六日ごろ	こよみのうえで、夏が始まる日。新緑や若葉に、夏の気配が感じられるようになる。
小満	五月二十一日ごろ	立夏から十五日目に当たる。陽気がさかんとなり、草木が成長して満ちてくるという意味。
芒種	六月六日ごろ	「芒（のぎ）」とは、いねや麦の実のからにある、はりの形をした毛のこと。芒のある穀物の種をまく時期である。
夏至	六月二十一日ごろ	一年の中で、昼が最も長く、夜が最も短い日。昔のこよみでは、夏の真ん中とされた。
小暑	七月七日ごろ	つゆが終わりに近づく。この日から「暑中（夏の暑さがさかんな時期）」に入り、暑さが増してくる。
大暑	七月二十三日ごろ	晴れた日が続き、一年のうちで暑さが最もきびしいころ。

三．夏の短歌、俳句です。薄い字をなぞったら、二回以上読みます。

めざましき　若葉の色の　日のいろの 揺れを静かに　たのしみにけり 島木　赤彦	短夜や　あすの教科書　揃へ寝る 日野　草城	くず餅の　きな粉しめりし　大暑かな 鈴木　真砂女

○学習をふり返ります。○をつけましょう。

この学習は、

よくわかった　・　だいたいわかった　・　あまりわからなかった

○学習してわかったこと、もっと考えてみたいことを書きましょう。

休業期間中の学習ワークシート　第６学年　家庭科②「マスクを作ってみよう」

名前		取り組んだ日	月　　日（　　）

動画	家庭4　ソーイング はじめの一歩②（見ながらやってもよい）	教科書	家庭科5･6　P.18～

☆　ハンカチを使って、マスクを作ってみよう！

【用意する物】
〇ハンカチ：よこ４２㎝×たて１３㎝(やわらかいものがよい)
〇マスク用ゴム：２４㎝～２７㎝ぐらいの長さを２本
〇針（はり）　〇手縫（ぬ）い用糸　〇裁（た）ちばさみ　〇糸切りばさみ
（〇チャコペンシル：動画では使っていないけど、あると便利。）

用意をするのが難しい人は、この学習プリントをよく読んで、マスクを作ることができるようになろう。

【マスクの作り方】

＊ハンカチを必要な大きさに切っておこう。裁（た）ちばさみを使う時は、お家の人と一緒に使おう。

①　布地をうらが上になるように、横長に置く。

②　半分に折り、折った部分に指アイロンをかける。
印がついたら、広げる。

③　上下を真ん中のラインに向かって折る。
　　折った部分に指アイロンをかける。

④　ハンカチを３等分になるように、印をつける。
　　（１４cmずつになるように、印をつける。）

⑤　右側のはしを３等分のラインの１cm手前で折る。
　　折った部分に指アイロンをかける。

⑥　左側のはしを１cm内側に折る。
　　折った部分に指アイロンをかける。

⑦　左側を３等分のラインまで折る。
　　折った部分に指アイロンをかける。
　＊折り目は重ならなくてよい。

⑧　針（はり）に糸を通す。糸のはしは、玉結び。

＊糸の長さは、５０㎝～６０㎝。腕をまっすぐに伸ばしたくらいの長さ。

糸を切るときは、ななめに切ると糸の先が細くなり、針（はり）あなに通しやすくなる。

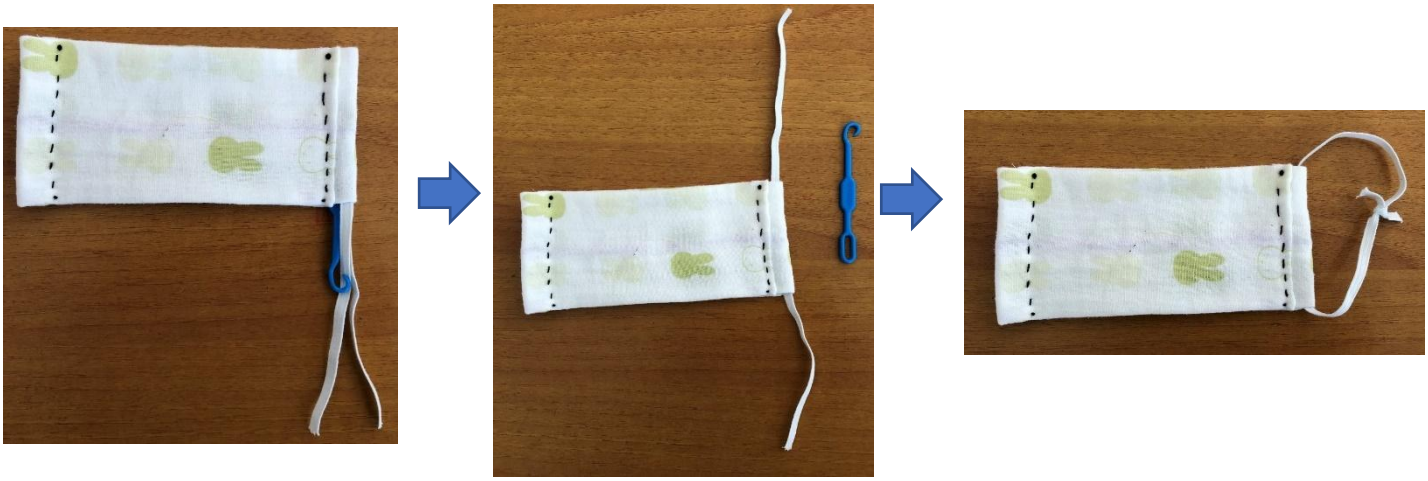
糸は１本どり。

⑨　はしから、１．５㎝のところをなみぬいでぬう。（右側、左側両方）
　　ぬい終わりは、玉止めをする。
＊玉止めのやり方は、教科書２３ページを見てみよう。

（右）

（左）

⑩　マスクのゴムをひも通しで通し、ゴムを結ぶ。（右側、左側両方）
　＊ひも通しがないときは、安全ピンやヘアピンで代用できる。



⑪　完成

〇学習をふりかえりましょう。（１つに〇をします）

よくわかった　・　だいたいわかった　・　あまりよくわからなかった

〇この学習で考えたことや感想を書きましょう。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿